

2024 年共通テスト

能登半島地震 共通テスト特例措置

追試験の申請は電話で可、罹災証明書は不要！

旺文社 教育情報センター 2024 年 1 月 10 日

1 月 1 日 16 時に発生した石川県能登地方を震源とする能登半島地震はマグニチュード 7.6、最大震度 7 を観測した。現在もなお、懸命な救出作業が続いている状況だ。

すでに共通テスト 2 週間前を切った段階で突如襲いかかった巨大地震。3 日に文科省と大学入試センターは被災した受験生に追試験の受験を認めることを発表、そして 9 日には大学入試センターから特例措置の詳細が発表された。追試験の申請は電話で可能で、罹災証明書等は不要。また、追試験会場が金沢大に増設されることとなった。

●特例措置 概要

【共通テスト 当初の予定】

《本試験》1 月 13 日（土）、14 日（日）。

《追試験》1 月 27 日（土）、28 日（日）。← 本試験の 2 週間後。

《追試験の会場》東京、京都の 2 会場（東京外国語大、京都工芸繊維大）。

↓

【今回の特例措置の概要】

- ・ 本試験、追試験の日程は変わらず。
- ・ 被災した受験生に追試験の受験を認める。
- ・ 追試験の会場を石川県内に設置（金沢大 角間キャンパス）。

●特例措置 詳細

特例措置により、①石川県の受験生、②石川県以外で被災した受験生は、以下のように追試験の受験が認められることとなった。

①本試験の会場が石川県に指定されている者 ※本試験の会場は受験票に記載。

（石川県は被災状況に関わらず、すべての者が追試験の申請可能）

【追試験会場】金沢大 角間キャンパス。

被災以外の事由で追試験を申請する場合も、すべて会場は金沢大。

金沢大で受験困難な理由がある場合は東京外国語大、京都工芸繊維大に変更可。追試験の申請時に申し出。

【申請方法】本試験会場の大学に電話で申請。

罹災証明書や診断書等の証明書類は不要（被災による追試験の申請者以外もすべて不要）。

②本試験の会場が石川県以外で、今回の地震で被災するなど特別な事情がある者

【追試験会場】(a)本試験の会場が新潟県に指定されている者 ⇒ 東京外国語大。

(b)同 富山県、福井県に指定されている者 ⇒ 京都工芸繊維大。

(c)同 上記4県(石川県含む)以外の者 ⇒ 指定された会場。

※(a)～(c)のいずれも金沢大 角間キャンパスに変更可。ただし被災により追試験を申請した者で、上記会場で受験困難な理由がある場合に限る。追試験の申請時に申し出。

【申請方法】本試験会場の大学に電話で申請。

被災による追試申請者は罹災証明書等の証明書類は不要（それ以外の追試験の申請者は必要）。

●その他

【被災により受験票を紛失した場合】

- ・試験当日、1時間程度早めに試験会場へ。
- ・会場本部で仮受験票を発行。また、受験票や成績請求票の再発行を手続き。
- ・学生証や写真の持参は不要。

【虚偽の申請を行った場合】

- ・追試験の受験許可を取り消すことがある。

【1月14日までに追試験の申請が困難な場合】

- ・15日以降速やかに大学入試センター事業第1課へ連絡。

2週間の猶予はできるものの、受験生にとって追試験は注意が必要だ。①国公立大の出願締切（2月2日）まで日がない、②予備校等が行う自己採点集計に間に合わない、③共テの平均点がわからない（例年追試験は発表されない）、④私立大の一般選抜も迫っている、といったデメリットも多い。慎重に判断してほしい。

(2024.01 石井)